

- 1 日時場所 令和5年8月29日(月)9時30分開会
南魚沼市民会館 会議室研修室
- 2 出席者
委員：岡村秀康教育長、西野仁委員、角谷正雄委員、須藤文子委員、川島亜紀子委員
事務局：片桐教育部長、関学校教育課長、西潟社会教育課長、吉田生涯スポーツ課長、山田子ども・若者相談支援センター長、小林図書センター長、小島管理指導主事、南雲管理指導主事、近藤指導主事、種村教育相談指導主事、中村指導主事、青木学校庶務主幹、山田施設主幹、林学校指導係長
- 3 議題
日程第1 **会議録署名委員の指名について**
角谷正雄委員、須藤文子委員

日程第2 **教育長及び事務局諸報告**
(教育長) (日程2ページ、教育長及び事務局諸報告のとおり)
質疑なし

日程第3 **管理指導主事等からの報告**
(南雲管理) (令和5年度いじめ・不登校の1学期末まとめについて、当日配付資料を説明)
(小島管理) 後山小学校、栃窪小学校2校の特認校について、10月2日から新入生の募集を開始する。市報9月1日号、FM雪国でのスポットCM等で周知を図っていく。
(近藤主事) 令和6年度小学校、中学校入学に向けての就学相談を、各関係機関と連携しながら進めている。
(種村主事) 不登校含め、7回以上欠席している児童生徒128名をフォローしている。そのうち60名は、カンファレンスシートをもとに見守りをすすめている。カンファレンスシートのない68名は、他機関連携によりフォローされている子、学校のみでの対応となっている子といるが、それぞれ見守りをすすめている。
(中村主事) (日程4ページ、令和5年度NRTの結果について資料説明)
2学期以降、多くの学校で学習指導センターの計画訪問が行われる。その計画訪問での経過報告の際に、課題の解決策や今後の事業の改善の方向性について、確認をしていきたいと考えている。
(角谷委員) 各学校によって、いじめ認知の数値が大きく違って不思議に感じている。いじめ認知の見方など、きちんと把握できている子ども達が多ければ多いほど、自分達で改善する力が働いてくると思っている。今回いじめ認知の数値が出てきていないということは、その力が働いていない気がする。先生ではなく、子ども達自身が、自分達でどう考えるかというように見直していった方がいいのではないかと。
(南雲管理) しっかりと学校への指導を継続していきたい。
(西野委員) 夏休み中に南魚沼市の子ども達を対象に、デイキャンプを2回実施した。参加した中には不登校の子どももいたが、時間が経つと溶け込んでいた。同じ不登校でも違いがあって、数だけの問題ではないと感じた。学校には行くことができない何かがあって、それを開放してあげると全く問題なかったりする。何らかの形で、教育委員会全体でやれることがあるのではないかと感じている。学校のことを余り気にしないで、集団活動するというようなことが大事だということを感じたので、そんなことが

できると嬉しく思う。

(南雲管理) 南魚沼市教育委員会として、どのような立ち位置になるのかすぐに回答はできないが、不登校の枠組の中で精査しながら、しっかりと学校の支援ができるようにしていきたいと考えている。

(教育長) 自然体験、社会体験等の社会教育的な活動に、不登校の子ども達も含めて参加できる場所があるというのが大事ではないかと思う。教育委員会事務局としてどんなことができるのか、検討してもらいたい。

(須藤委員) 様々な要因で不登校になっていると思う。100人いれば、100通りの要因があるのではないかといいくらいに難しい問題だと感じている。

(川島委員) 市の中で、できることも多くあるとは思いますが、いろいろな選択肢を周知していくことも大切になことだと感じている。

(角谷委員) NRTの結果を見ると、いじめ認知の問題と結びついているように感じる。集団で学んでいるが、その集団の力が弱いのではないか。学校だけではなく、家庭でも取り組んでいかなければならない問題だと感じた。

(中村主事) 学びの集団は非常に大切である。南魚沼市では、話があったように、学習意欲の部分が不足していると感じる。学ぶ楽しさ、分かる喜びを授業の中で教えていくことが必要だと考えている。

(小島管理) 学級づくりに向けて、南魚沼市ではWebQ Uを始め、学力の向上と学級づくり、親和的な集団づくりを並行して進めている。

日程第4 **第28号議案 令和5年度南魚沼市学齢児童生徒の就学援助認定の可否について（7月申請分）（資料は当日配付回収）**

(庶務主幹) (当日配付資料説明)

質疑なし

日程第5 **第29号議案 令和5年度特別支援教育就学奨励費の支弁区分の決定について（資料は当日配付回収）**

(庶務主幹) (当日配付資料説明)

質疑なし

日程第6 **第30号議案 教育財産の使用許可について**

(施設主幹) (日程7ページ、教育財産等の使用許可について資料説明)

質疑なし

日程第7 **第13号報告 教育財産等の使用許可について**

(施設主幹) (日程14ページ、教育財産等の使用許可について資料説明)

(角谷委員) 使用する日が、早朝や日曜日だったりするが、施設の管理は教員が出向くのか。

(学教課長) 教員が出勤して鍵の管理を行うことはない。

(施設主幹) (第13号報告(2)教育財産等の使用許可について、当日配付資料説明)

質疑なし

日程第8 **その他**

(1) **子ども・若者相談支援センターの相談等状況について（7月分）**

(子若センター長) (日程17ページ、7月分相談等状況について資料説明)

(須藤委員) 体験活動の中で、体育館での運動が定例的に月何回かある。スタッフや仲間と関わり合いながらだと思いが、子ども達の変化はどうか。

(子若センター長) 参加したメンバー同士で話し合いをしながら、何をやるか決めている。上手く関わりを持っていてるように感じている。

(2) 家庭教育支援事業実施状況(7月分)

(社教課長) (日程 19 ページ、7月分家庭教育支援事業実施状況について資料説明)

(西野委員) 読み聞かせのボランティアには謝礼は出ているのか。

(社教課長) 読み聞かせは、無償ボランティアでお願いしている。

(須藤委員) 親業での講師にも謝礼は出していないのか。

(社教課長) 些少だが謝礼は出ている。

(川島委員) 謝礼の支払いの基準は。

(社教課長) 確認して、次回報告する。

(3) 学校・地域の連携促進事業実施状況(7月分)

(学教課長) (日程 20 ページ、7月分学校・地域の連携促進事業実施状況について資料説明)

(川島委員) 地域コーディネーターは、中学校でも活動しているか。

(学教課長) 中学校の地域コーディネーターは、小学校と兼務している方がほとんどである。毎年の学校訪問での話では、中学校ではあまり活動していないと聞いている。その際には、職場体験のマッチングくらいならできるのではないかと提案はしている。

(須藤委員) 知り合いの地域コーディネーターは、もっと活動したいと言っていた。課長等から中学校へ働きかけてもらって、いい形が出来ればと考えている。

(4) 教育基本計画の指標と目標値の達成状況について

(教育部長) (日程 21 ページ、第2次教育基本計画 各分野の指標と目標値の達成状況について資料説明)

質疑なし

(5) その他

(須藤委員) 学習指導センターの研修講座一覧表について、どのように学校へ配付されているのか。ICT講座への教員の参加状況はどうか。

(中村主事) 各学校へは1冊ずつ配付している。ICT講座への参加状況については、多い講座で十数名いたが、他の講座と重なってしまった講座では、参加者は少なかった。

(教 育 長) 今後の日程について、次回教育委員会は9月29日(金)午前9時30分から市民会館で行う。第9回教育委員会は、10月30日(月)午前9時30分から市民会館で行う。以上をもって、第7回教育委員会を閉会とする。

11時25分閉議閉会